

伊勢湾貧酸素情報（第4報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

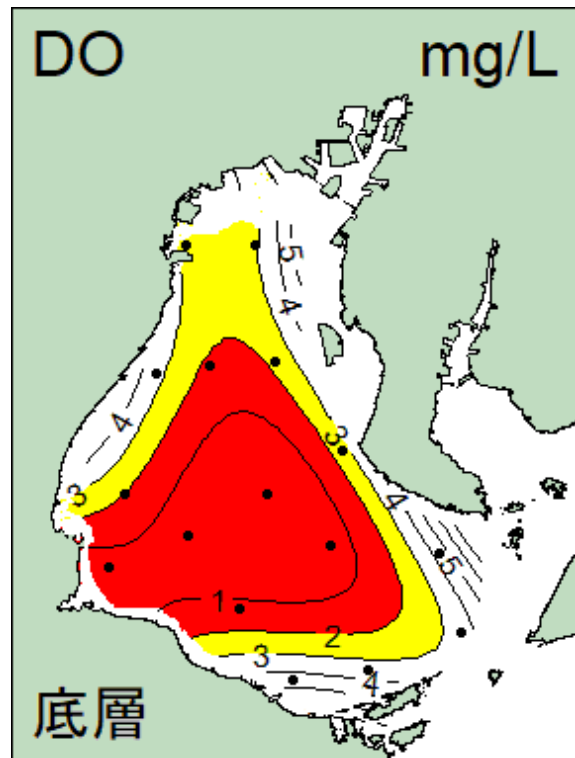
9月14日の調査結果

9月14日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で26.8～29.8℃、10mで24.4～26.7℃、底層で19.9～25.8℃の範囲にあり、表層及び底層は平年より高め、10mは平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で5.8～11.8 mg/L、10mで1.4～5.5 mg/L、底層で0.1～4.3 mg/Lの範囲にあり、表層及び10mは平年並み、底層は平年よりやや高めとなっていました。

先月は三重県側を中心に分布していた貧酸素水塊は今回の観測では東側にも分布範囲を広げて広い範囲で分布しています。

今後も貧酸素水塊に注意した操業を心掛けてください。



底層貧酸素水塊分布図